

新発田市歴史的景観形成建造物指定一覧

令和7年4月現在

番号	所在地	建造物名称	年代
1	大栄町7丁目	双子蔵	明治21年頃
2	中央町3丁目	與板屋 タナカ	昭和10年頃
3	御幸町1丁目	平久呉服店	昭和10年頃
4	米倉	絵のある風景	大正10年頃
5	米倉	肥田野家住宅	明治31年頃
6	中央町3丁目	すき焼八木	昭和10年頃
7	大手町2丁目	吉原写真館	昭和11年頃
8	大手町2丁目	高森家住宅	昭和12年頃
9	上赤谷	杉原家住宅主屋	明治32年頃
10	上赤谷	杉原家住宅土蔵	明治18年頃

双子蔵 〈大栄町7丁目〉

指定年月日 平成30年4月1日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載



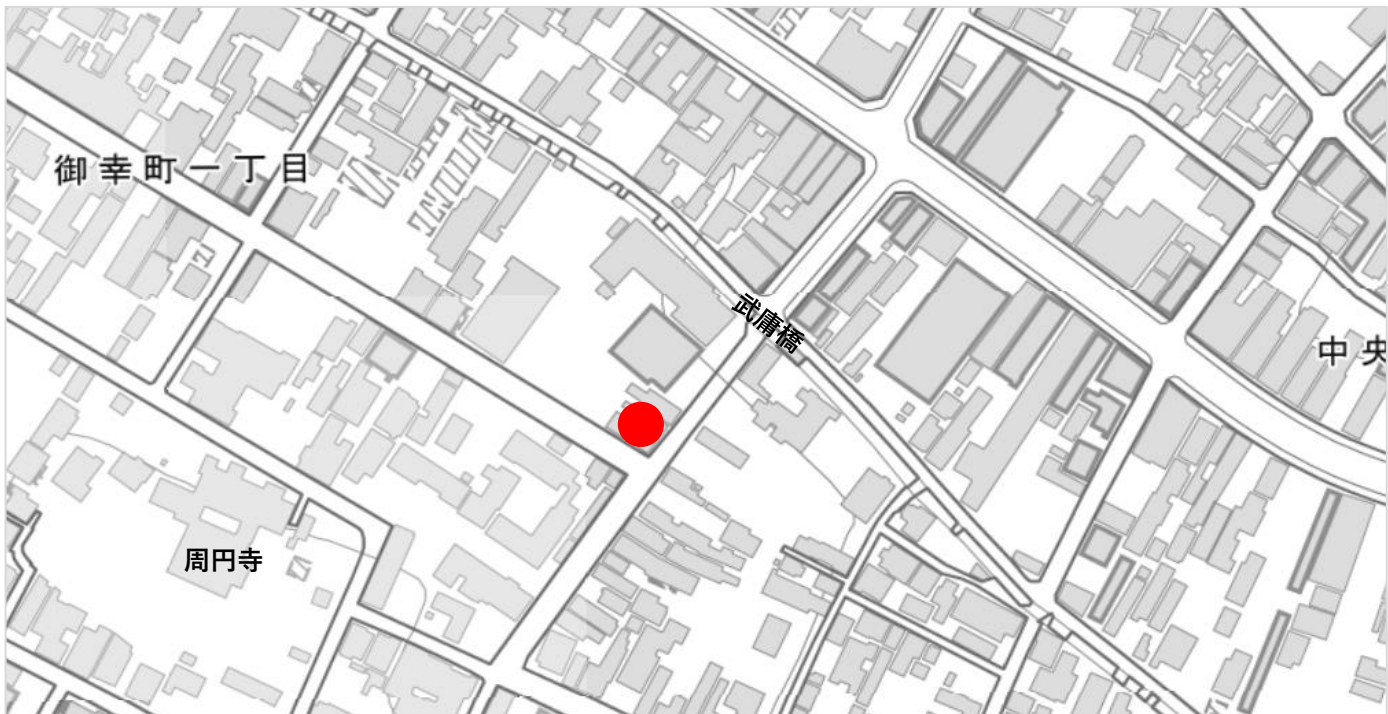
市内を流れる新発田川沿いにある土蔵です。歴史景観エリアの寺町・清水谷地区に位置し、一方が歴史景観重要道路沿い、もう一方は道路を挟んで新発田川に面した角地に位置しております。明治中期に建築され、二つの蔵を大屋根で覆った置き屋根式が特徴的な建築物です。

※内部の公開はしておりませんのでご注意ください。

平久呉服店 〈御幸町1丁目〉

指定年月日 平成30年4月1日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載

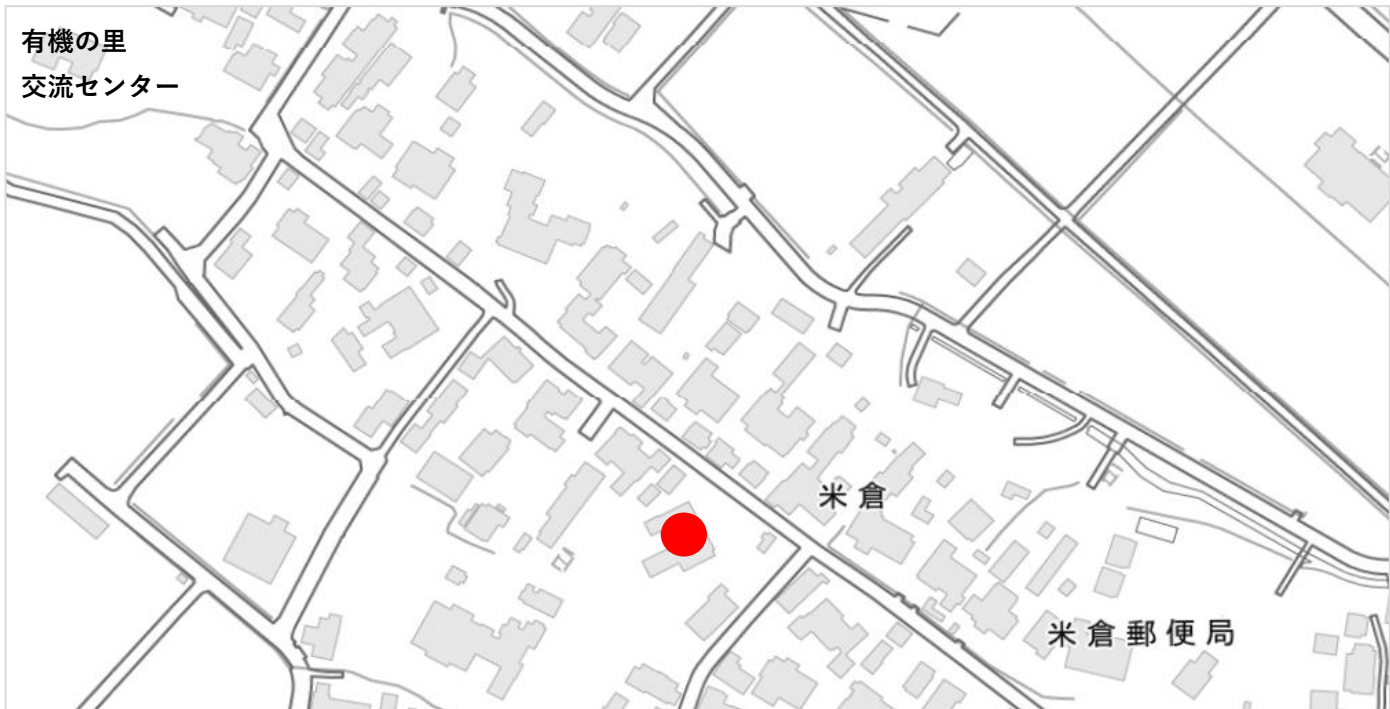


昭和初期に建築された呉服店です。角地に建ち、道路に面する部分に木製ガラス戸を多く使用しております。外壁は板張りで屋根は瓦葺きの入母屋造りで重厚感のある建築物です。

絵のある風景 〈米倉地区〉

指定年月日 平成30年4月1日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載



大正10年頃に建築された米倉の旧会津街道沿いに建つ建築物で現在は喫茶店です。前面道路に沿って水路が流れ黒塀が建ち、敷地の中央に木造平屋建ての喫茶店があります。写真の奥にあります縁側は、L字型で開放的な空間となっております。

すき焼八木 〈中央町3丁目〉

指定年月日 令和元年12月9日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載



昭和初期に建築された新道に建つ料理店です。切り妻屋根の棧瓦葺きの総2階建てで、当時の面影を残す貴重な木造建築物であります。軒が深く、建具が木製のまま残されており、歴史的な雰囲気が感じられます。

吉原写真館 〈大手町2丁目〉

指定年月日 令和4年3月9日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載



昭和10年の新発田大火により全焼し、昭和11年に再建したのが現在の形となっています。当時では珍しい木造の3階建てです。外壁はモルタル仕上げとしており、一階正面腰壁のスクラッチタイル貼（多数の細い溝の模様があるタイル）や水平性を強調した庇・丸窓などの幾何学的な意匠は当時のまま残っています。

高森家住宅 〈大手町2丁目〉

指定年月日 令和5年10月24日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載



昭和12年頃に建築された木造平屋建ての住宅です。外壁は下見板張りが長く続き、その一部に漆喰壁も続く純和風建築です。住宅の奥には2階建ての土蔵があり、外壁は漆喰塗で一部下見板張りであります。また、敷地は水路に面しており、川戸の痕跡も残っております。

※内部の公開はしておりませんのでご注意ください。

杉原家住宅主屋 〈上赤谷〉

指定年月日 令和7年3月27日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載



明治30年の大火により焼失し、現在の主屋は明治32年に建て直されたものです。主屋は木造棧瓦葺き・切妻造りの平入りで、桁行14間、梁間9間の規模を誇る2階建てとなっております。かつて、庄屋代理を務めていた歴史を持ち、玄関は家人用と客人用の2つが設けられるなど、格式の高さを感じます。

主屋は、江戸時代に引かれた用水路と細く長い小道に面して建っており、訪れる人に静けさや風情を感じさせてくれる佇まいが魅力です。

※内部の公開はしておりませんのでご注意ください。

杉原家住宅土蔵 〈上赤谷〉

指定年月日 令和7年3月27日

所在地の地図



出典：地理院地図に追記して掲載



この土蔵は、明治18年に建てられてたもの、2階建て地下付き切妻造りの平入りという、当時としては非常に堅牢な構造を構えています。

妻側に家紋が掲げられ、外壁は重厚感のある黒漆喰仕上げ、腰壁はモルタル塗りとされ、堅牢さと格式を兼ね備えた外観が目を引きます。長い時を経た今も、重厚な存在感を放つこの土蔵は、地域の景観に落ち着きと趣を与えてくれます。

※内部の公開はしておりませんのでご注意ください。